

《担当者名》宮野 晃一郎（非）miyanoko16@gmail.com

【概要】

この講義では、社会福祉学の基礎を哲学・倫理学の立場から学ぶ。そのために現代社会における個人と社会との関係について、優生学、障害学、利己主義、功利主義、社会契約説等について検討し、誰もが生きづらさを抱えている現代社会において人が幸福に生きるとはどういうことかについて考える。

【学修目標】

福祉の哲学的・倫理的基盤を理解する。

社会の成員にとって幸福とは何か、自由とは何かということを検討し自分なりの考えを身につける。

現代社会における生きづらさの問題について他人事ではなく自分の身に引きつけて考える。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	哲学と倫理学の意義を理解する。	宮野
2	優生学について	優生学の展開と問題点について学び、現代社会の「内なる優生思想」について考える。	宮野
3	障害学について	障害学の理念と意義について学び、生きづらさを抱えることのない社会の構築について考える。	宮野
4	フーコーの生権力論	フーコーの生権力論をとおして優生学・人種主義の成立した背景を理解する。	宮野
5	フーコーの精神医学批判	フーコー『狂気の歴史』をとおして現代の精神保健医療の問題を検討する。	宮野
6	セクシュアリティの問題	フーコー『性の歴史』をとおしてセクシュアリティが個人的であると同時に社会的な問題であることを理解する。	宮野
7	ホブズの自己保存と欲望	ホブズの社会契約説を概観し、利己主義と自由との関係について考える。	宮野
8	ロックの所有と統治	ロックの社会契約説を概観し、私的所有権と自由との関係について考える。	宮野
9	ルソーの自由と自律	ルソーの社会契約説を概観し、自由と自律および個人的利益と一般的利益との関係について考える。	宮野
10	スミスの共感と「見えざる手」	スミスの共感に基づく道徳観と経済的自由との関係について考える。	宮野
11	マルクスの労働と疎外	マルクスの剰余価値論をとおして労働と疎外との関係について考える。	宮野
12	カントの義務論と人間の尊厳	カントの倫理学を概観し、自由で自律した人格の責任と人間の尊厳との関係について考える。	宮野
13	ベンサム「最大多数と最大幸福」	ベンサムの量的功利主義を概観し、多数派の利益の反映による少数派の不利益や監視社会の問題について考える。	宮野
14	J・S・ミルの自由論	J・S・ミルの質的功利主義を概観し、自由の原則と多様性の原則について考える。	宮野
15	まとめ	講義全体のまとめ	宮野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

各回のミニレポート（60%）および期末レポート（40%）で評価する。

ミニレポートについて、次回の講義で主な内容と質問を紹介し参加者全員で共有する。

【教科書】

使用せず、適宜資料を配付する。

【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1998年
ミシェル・フーコー『狂気の歴史』田村俣訳、新潮社、1975年
ミシェル・フーコー『性の歴史 : 知への意志』渡辺守章訳、新潮社、1986年
トマス・ホッブズ『リヴァイアサン』(1~4)水田洋訳、岩波文庫、1954-1985年
ジョン・ロック『統治二論』加藤節訳、岩波文庫、2010年
ジャン=ジャック・ルソー『人間不平等起源論』本田喜代治・平岡昇訳、岩波文庫、1972年
ジャン=ジャック・ルソー『社会契約論』桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波文庫、1954年
アダム・スミス『道徳感情論』(上・下)水田洋訳、岩波文庫、2003年
アダム・スミス『国富論』(1~4)水田洋監訳、岩波文庫、2000-2001年
カール・マルクス『資本論』(1~9)向坂逸郎訳、岩波文庫、1969-1970年
カール・マルクス『経済学・哲学草稿』城塚登・田中吉六訳、岩波文庫、1964年
カール・マルクス『経済学批判』武田隆夫・遠藤湘吉・大内力・加藤俊彦訳、岩波文庫、1956年
カール・マルクス『賃労働と資本 / 賃金・価格・利潤』森田成也訳、光文社古典新訳文庫、2014年
イマニュエル・カント『道徳形而上学の基礎づけ』中山元訳、光文社古典新訳文庫、2012年
ジェレミー・ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』(上・下)中山元訳、光文社古典新訳文庫、2022年
ジョン・スチュワート・ミル『自由論』齊藤悦則訳、光文社古典新訳文庫、2012年
ジョン・スチュワート・ミル『功利主義』関口正司訳、岩波文庫、2021年

【備考】

この科目は、教職課程(公民)では、教科に関する科目の「哲学、倫理学、宗教学、心理学」に該当する。

【学修の準備】

- ・事前に前回の講義内容について復習すること(復習2時間)。
- ・事後にミニレポートを作成すること(予習2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。